

第 9 章

ヨハネの福音書 第 9 章

この課であなたが学ぶことは……

生まれつきの盲人をいやすイエス

盲人のいやしさを追求するパリサイ人

霊的な盲人

生まれつきの盲人をいやすイエス

ヨハネの福音書 9：1～12を読んで下さい。

イエスの弟子たちは、人は犯した罪の罰として病気にかかると思っていた。それならば、生まれつきの盲人はどうなるのでしょうか。罪を犯す以前に盲人として生まれたのです。それは両親の罪のためなのでしょうか。

イエスは病気や苦難は、必ずしも当人の罪の結果ではないことを教えられました。多くの病気には自然な原因があって、罪と罰には



全く関係がないのです。この盲人も、イエスによっていやされ、イエスは彼に罪より救われる機会を与えられたのです。そして周囲の

人々はこの神のみ業を見て、イエスを信じるようになりました。この男が盲人として生まれる前から、この奇跡の起きるすべてを神はご存知だったのです。

なぜ苦悩するのか、私たちには理解できないことがしばしばあり

ます。病気の原因をさぐり、健康に気を配りますが、それでも私たちは病気にかかったり、事故に合ったりします。そんな時、私たちは神に向かって「神よ、どうしてこのような事が起きたのですか」と質問するのです。

神は時には、苦難を通して私たちが矯正されることがあります。私たちの心や、生き方を調べ、間違ったことを言ったり行ったり、

また悪い態度や罪ある思いがあれば、そのために赦しを求めなければいけません。そして神がいやして下さるよう祈るべきです。しかし、更に大切なことは、私たちの苦しみを通して人々が神の愛と力を知って神に賛美することです。私たちの生活のすべてを通して神に栄光を帰する者でありたいと思います。



自習のために

- 1 なぜ男は生まれつき盲人だったのですか。
 - 1) 彼の罪のため。
 - 2) 彼の両親の罪のため。
 - 3) 神のみ業が表されるため。

- 2 なぜ盲人は自分をいやした人がだれであるか知らなかったのですか。
 - 1) シロアムの地に行って洗うまで見えなかったから。
 - 2) いやされたとき、イエスに尋ねなかったから。
 - 3) 彼はその町ではよそ者だったから。

盲人のいやしさを追求するパリサイ人



ヨハネの福音書9：13～34を読んで下さい。

イエスが安息日に盲人をいやされたので、敵対していた祭司長たちは憤慨していました。彼らに盲人がいやされたことを喜ぶことができなかつ

です。彼らは盲人の男にイエスが安息日を破る罪人であることを認めさせたかったのです。そしてこの男が納得しないので会堂から追い出してしまいました。

いやされた男が祭司長たちの前で、イエスが神の御子であることよく説明することはできませんでしたが、イエスが自分のために「をなされたかについて語りました。これは私たちにとってよい規範となります。私たちもイエスが私たちのためにして下さったことについて喜んで証しをすることができるのです。

私は盲目であったのに、今は見えるということです。

ヨハネ 9：25



自習のために

- 3 ヨハネ 9：25を暗唱して下さい。
- 4 イエスがあなたにして下さったことを証しできるよう祈って下さい。

霊的な盲人

ヨハネの福音書 9：35～41を読んで下さい。

当時、会堂の外に追い出されるといことは、死を宣告されるぐらいに深刻なことでした。イエスは彼に出会って励まされました。そ

してご自分が救い主であることを教えられると、男は信じてイエスを拝しました。

イエスは、霊的な盲目について話されました。パリサイ人の真理を受け入れようとしない霊的な盲目さについて非難されました。しかし、盲人であった男は、イエスを信じ受け入れたのでいやしと罪よりの救いを体験したのです。



私達も霊的な盲目者とならないためにも、イエスを自分の救主として受け入れるのです。私達が聖書を学び、祈るとき神はたちの霊の目を開いて下さいます。

私の目を開いてください。私があなただのみおしえのうちにある奇しいことに、目を留めるようにしてください。

詩篇119：18



自習のために

- 5 肉体的盲目のほかに：イエスはどのような盲目について話しましたか。
 - 1) めがねを必要とする部分的盲目。
 - 2) イエスを信じない霊的な盲目。

3) 色盲。

6 私たちが靈的な盲目からいやされるために何をしなければなりませんか。

- 1) 個人的にイエスを救い主として受け入れる。
- 2) 教会員になる。
- 3) 私たちの目に泥を塗ってもらう。

正 解

- 1 3) 神の業が表われるため。
- 5 2) イエスを信じない靈的な盲目。
- 2 1) シロアムの池に行って洗うまで見えなかったから。
- 6 1) 個人的にイエスを救い主として受け入れる。